

三沢市地域公共交通会議 会議録

会議名称	平成24年度第2回会議					
開催日時	平成24年11月26日（月）13時30分～15時00分					
場 所	三沢市総合社会福祉センター2階多目的ホール					
出席者	会 長	小渡 章好	副会長	富田 哲	監 事	宮崎 倫子
	委 員	根岸 勲	委 員	種市 博幸	委 員	田中 和男
	委 員	小笠原 和彦	委 員	佐藤 美仁	委 員	佐藤 範幸
	委 員	向中野 貢	委 員	浪岡 博司（代）	オブザーバー	長谷川光昭（代）
	オブザーバー	長畑 光紀（代）	オブザーバー	小林 恵（代）		
	事務局	三沢市：山本課長、堀課長補佐、横田係長、樋口主事 千代田コンサルタント：松浦、苅込				
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議 事</p> <p style="padding-left: 20px;">（議案第1号）</p> <p style="padding-left: 40px;">平成23年度三沢市地域公共交通会議決算（監査報告）</p> <p style="padding-left: 20px;">（協議事項）</p> <p style="padding-left: 40px;">（1）三沢市コミュニティバス（みーばす）の一部ルート変更について</p> <p style="padding-left: 20px;">（その他報告事項）</p> <p style="padding-left: 40px;">（1）十和田観光電鉄鉄道線代替バスのダイヤ改正について</p> <p style="padding-left: 40px;">（2）平成24年度事業の進捗状況について</p> <p>4 閉 会</p>					
会議の経過及び審議結果（概要）						
<p>1 開 会</p> <p>2 会長挨拶 小渡会長挨拶</p> <p>3 議 事</p> <p style="padding-left: 20px;">（議案第1号）</p> <p style="padding-left: 20px;">【平成23年度三沢市地域公共交通会議決算（監査報告）】</p> <p style="padding-left: 40px;">事務局等から報告書第1号、報告第1号関係及び平成23年度三沢市地域公共交通会議決算書を説明。</p> <p style="padding-left: 20px;">【監査報告】</p> <p style="padding-left: 40px;">宮崎監事と中野監事で監査した結果、適正に処理されていたことを報告。</p>						

<主な意見>

(向中野委員)

- ・ 平成 23 年度三沢市地域公共交通会議決算書において、三沢市負担金の金額が大きいように感じるが、これは妥当と考えているか。

(事務局)

- ・ 三沢市負担金は、コミュニティバスの実証運行、利用促進に係る市が主体の事業費であり、市立病院移設、通学者の足等を確保するために適切な支出であると考えている。

(向中野委員)

- ・ 八戸では、300 円のバス乗車券で試験運行を行っているが、三沢市のバスは 100 円である。タダ同然の運行をされることで、タクシー事業者は経営が厳しい。タクシーにおいても、定額運賃やイベント、観光ルート別運賃など、国土交通省から認可をもらえれば料金を引き下げることが可能であるが、運賃の上限・下限の設定は、公共交通における「秩序」であると考えている。100 円という金額は秩序を乱していると思う。

(小渡委員)

- ・ これまで 3 年間国交省事業で行ってきたが、突然無くなったため、市単独で行っているという経緯がある。今後、タクシー・バスがそれぞれの立場でどういう役割を果たすべきかについて話しあう必要がある。

(向中野委員)

- ・ 市立病院の移転に伴って公共交通を確保しているということだが、そもそも病院に通われる方にとってバスを使うのは厳しいのではないか。特にこれから寒い時期になる。以前の市立病院は、タクシー利用の際には、市街地から基本料金で行けたが、現在は、片道 1360 円くらいかかるため、バスを使えない方は大変である。これらの方が本当の交通弱者でないか。

(小渡委員)

- ・ 使用目的がバス・タクシーでは違う。ただし、市場が縮小している中で、将来的に住民の足をどう確保するかという観点からタクシー・バスの役割について話し合いをするべきだと思う。今後、議論の場を設ける必要がある。

(事務局)

- ・ 市負担金の金額は適切と考えているが、バス運賃 100 円という金額については、議論の余地があると考えている。この金額は、これまで市街地誘客事業として 100 円バスを運行していたことから、それを踏襲していたものである。

(小渡委員)

- ・ 平成 23 年度三沢市地域公共交通会議決算書について、全会一致で了承された。

(協議事項)

【三沢市コミュニティバス（みーばす）の一部ルート変更について】

十和田電鉄から協議事項 1 を説明し、全会一致で了承された。

(その他報告事項)

【(1) 十和田観光電鉄鉄道線代替バスのダイヤ改正について】

十和田電鉄から「鉄道代替バス運行の現状について」「平成 24 年度 12 月 1 日十鉄バス一部時刻改正」を説明。

<主な意見>

(小渡委員)

- ・ これまで鉄道を利用者していた方はどうしているか。

(佐藤美仁委員)

- ・ 通常、鉄道からバスに変更すると利用率は 70%程度になると言われる。去年の同時期は鉄道マニアの方が乗車していたことから単純な参考にはならないかもしれない。現在 80 数%の乗車率であるが、利用者のほとんどが学生であり、スクールバスに近い状況である。往復ほぼ同じ利用者数である。また、土日の利用者数は、200 人に届かない日もある。

(小渡委員)

- ・ 冬期の遅延が気になるところだったが、遅れなく運行しているか。

(佐藤美仁委員)

- ・ 現在のところ、遅れなく運行している状況である。

(小渡委員)

- ・ 十和田観光電鉄鉄道線代替バスのダイヤ改正について、全会一致で了承された。

(報告事項)

【(2) 平成 24 年度事業の進捗状況について】

事務局から「平成 24 年度事業の進捗状況について」を説明。

<主な意見>

(佐藤美仁委員)

- ・ 100 円割引券は、高校生、主婦等に配布しており、チラシはバス内にも掲示している。

(小渡委員)

- ・ 商工会の反応はどうか。

(富田委員)

- ・ まだ商工会では反応は聞かれない。100 円バス利用者にはどんどん配ったら良いと思う。

(小渡委員)

- ・ コミュニティバスのラッピングについて、うさぎとかめは後からつくか。

(佐藤美仁委員)

- ・ うさぎとかめは、方向幕に付いている。

(小渡委員)

- ・ うさぎとかめは、徐々に認知度が上がってくれば良い。あしあとランプの整備状況はどうか。

(事務局)

- ・ 12 月 4 日に改修作業を行う予定である。病院のモニターシステムについては、情報提供機能として、到着時間の表示を追加する予定である。

(千代田コンサルタント)

- ・ 病院のモニターシステムの情報が充実してきた。今後は民間広告などにつながれば良い。

(小渡委員)

- ・ 八戸市では、新幹線の最終便にあわせてジャンボタクシーが整備された。どんどんサービスが良くなってきている。これまでタクシー利用がほとんどだったが、八戸市は、新幹線の駅から街なかまでの料金が高いため、最近バス利用者も増えてきているようだ。
- ・ あしあとランプについては、全国に先駆けて設置したものである。利用者の要望に応じて改良していく必要がある。

4 閉 会

以上